

# アーカイブ機能アップデートマニュアル

<Windows - SQL Server 版>

1.	はじめに	1
2.	注意事項	1
3.	アーカイブ機能のアップデート(SQL Server 版)	2
3	-1. アップデート開始からセットアップまで	2
4.	アップデート後の確認事項	7
4	-1. サーバーの設定日時について	7

## 1. はじめに



本説明書は、株式会社 NI コンサルティング社(以下、弊社)開発の「NI コラボ」、「顧客創造日報 for WEB」、 「顧客深耕日報 for WEB」、「顧客創造日報 Type-R」、「顧客深耕日報 Type-R」、「顧客深耕日報 AO」、 「可視化日報」及び「見積共有管理」(以下、弊社製品)のデータを対象とした、アーカイブ機能のアップデート 手順に関するマニュアルです。一連の作業の流れと注意点を説明しておりますので、アップデート作業の トラブルを避ける為にも必ず手順に従い、内容をご確認ください。

### 2. 注意事項

アーカイブ機能の製品動作の変更点を説明します。

変更日	内容
2009年4月20日	NI コラボのメールデータにおきまして、アーカイブ可能なメールサイズの上限を 30MB と
	設定しました。メールサイズが 30MB を超えるメールデータはアーカイブできません。
	アーカイブ出来ないメールデータは製品のメール保存機能を利用してください。
2009年9月28日	顧客深耕日報、顧客創造日報、顧客深耕日報 AO 製品のバージョンアップに伴い、
	アーカイブツールの機能を更新しております。
2009年12月17日	顧客深耕日報、顧客創造日報、顧客深耕日報 AO 製品のバージョンアップに伴い、
	アーカイブツールの機能を更新しております。
2010年2月22日	NI コラボのメールデータを移動する場合に、検索条件内のメールの一部が移動できない
	問題の修繕対応を行なっております。
2010年7月26日	NI コラボのメール機能のレスポンス改善にともない更新を行っております。
2010年8月23日	見積共有管理の登録機能の改善にともない更新を行っております。
2011 年 3 月 22 日	SQLServer2008R2 をご利用のお客様に対応いたしました。
	※PostgreSQL 版をご利用のお客様はバージョン番号の更新のみ行っております。
2012年2月27日	バッチのエラー処理の改善やログ出力の分類の整理および出力内容の見直しなど、
	機能改善を行いました。
2012 年 4 月 23 日	閲覧制限のかかった顧客名および案件名をアスタリスクで隠す設定を行っている場合、
	閲覧可能な情報についても閲覧ができない問題を修繕しております。
2012 年 5 月 28 日	データの保守を重視するためにリカバリ後に自動的にアーカイブサイトを削除する
	機能を廃止しました。アーカイブサイトを削除される場合は、必要な情報が運用サイトに
	存在していることを確認の上、削除していただくようお願いいたします。
2012 年 7 月 23 日	アーカイブー覧の画面上部に、アーカイブ実行結果一覧へのリンク付き告知を
	表示するように改善しました。
2012 年 8 月 27 日	アーカイブの Java VM のメモリの初期値を、256MB から 1024MBに変更しました。
	また、エラー発生時、[削除ボタン][追加ボタン]を表示せず、[リカバリボタン]のみを
	表示するように仕様変更を行いました。
2013 年 3 月 25 日	アーカイブの新規作成、追加、リカバリの各詳細設定画面に、バックアップ処理中を避け、
	製品を利用していない時間帯にアーカイブを実行するように注意事項を追加しました。



# 3. アーカイブ機能のアップデート (SQL Server 版)

#### 3-1. アップデート開始からセットアップまで

アーカイブ機能をアップデートするにあたり、セットアッププログラムの起動からアップデート完了までの手順を 記載しております。記載内容をよくご確認の上、作業を実施してください。

アーカイブ機能のインストールは、弊社製品のアップデートが完了した後に行ってください。



WEB サーバーとデータベースサーバーを分割して運用されている場合は、 WEB サーバー、データベースサーバーの順番にアーカイブツールのアップデートを行ってください。

アーカイブツールのアップデートでは、サーバーの再起動が必要となります。

- ① まず以下の手順に従って、アーカイブツールのアンインストールを実施してください。
  - アーカイブツールがインストールされているサーバーで、「スタート」→
     「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」の順に選択していきます。
  - プログラム一覧から、「NI コンサルティングアーカイブツール」を選択し、「変更と削除」 ボタンをクリックします。
  - 3. 「ようこそ」画面が表示されるので、表示項目のうち「削除(R)」を選択し、「次へ」を クリックします。
  - 4. 「選択したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか?」という確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。
  - 5. 「メンテナンスの完了」画面が表示されるので、「はい、今すぐコンピュータを再起動します」が選択さ れていることを確認の上、「完了」をクリックします。
  - 6. 上記メッセージが表示されない場合は手動でサーバーの再起動を行ってください。
  - サーバー再起動後、アンインストールで削除されなかったファイルを削除します。
     通常「C:¥Program Files¥Niconsul」以下に「Archive」「jre」が配置されます。
     アンインストール後、上記フォルダが残っている場合は手動で必ず削除してください。



セットアッププログラムの起動

ダウンロードしました「archive-setup.exe」をダブルクリックしてください。

③ 「archive-setup.exe」を起動すると、「NI コンサルティング アーカイブツール セットアップへようこそ」 画面が表示されるので、[次へ]をクリックしてください。

NIコンサルティング アーカイブツール – InstallShield Wizard		×
	NIコンサルティング アーカイブツール セットアッフ*へようこそ	
	このプログラムは、NIコンサルティング アーカイブツールをコンピュータに インストールします。このセットアップ フ ログラムを実行する前に、すべての Windowsプログラムを終了することを推奨します。	
	< 戻る(B) [ <u>次へい)&gt;</u> キャンセル	

④ 次に、サーバー構成を確認する画面が表示されます。

セットアップを実施いただいているサーバーを選択し、[次へ]をクリックしてください。 (通常はそのまま[次へ]をクリックしてください)

NIコンサルティング アーカイブツール - InstallShield Wizard	×
サーバー環境の選択	A.
このサーバーの環境を選択してください。	
1. すべて 2.WEBサーバー 3.データベースサーバー	<ul> <li>説明 標準 この1台のサーバーでWEBサーバーとデ ータベースサーバーが稼働している場合 に選択してください。</li> </ul>
InstallShield	5個) 次へ(ND) キャンセル



アーカイブツールのインストール先フォルダの選択画面が表示されます。

インストール先を変更する場合は[変更]を選択し、アーカイブツールをインストールするフォルダを選択

してください。

(通常はそのまま[次へ]をクリックしてください)

NIコンサルティン	グ アーカイブツール – InstallShield Wizard	×
<b>インストール先の</b> ファイルをインス		
	Nロンサルティング アーカイブツール のインストール先: C:¥Program Files¥Niconsul	
InstallShield —	< 戻る( <u>B</u> ) ( <u>次へ、(N</u> )>	

弊社製品がインストールされているフォルダ (WEB サーバーのドキュメントルート以下にある「ni」フォルダ) を インストール先には選択できません。

⑤ 次に、弊社製品のインストール先を選択する画面が表示されます。

弊社製品がインストールされているフォルダを選択し、[次へ]をクリックしてください。

(インストール先は、WEB サーバーのドキュメントルート以下になります。

IISご利用の場合の標準は C:¥inetpub¥wwwroot 以下、

Apacheご利用の場合の標準は C:¥Program Files¥Apache Software Foundation¥Apache2¥htdocs¥ni 以下になります。)





「データベースサーバーの設定」画面が表示されます。
 設定項目をご確認の上、[次へ]を選択してください。

Nビコンサルティング アーカイブツール - I	nstallShield Wizard 🛛 🔀
データベースサーバーの設定	
データベースサーバーに関する情報を読	設定します。
管理者(sa)パスワード	
ΙΡ <b>アド</b> レス	例)192.168.0.100
インスタンス設定	<ul> <li>○ 既定インスタンス</li> <li>○ 名前付きインスタンス</li> </ul>
データベースを設定する	サーバーの名前、およびインスタンス名を入力してください。
サーバー名 インスタンス名	
※ 接続先のデータベースサ ください。接続先のSQLS ない環境やSQLServer/ ません。	ーバーは必ず、NI製品のデータベースがインストールされている事をご確認 Serverは常に起動中にしてください。NI製品のデータベースが登録されてい が起動していない環境では、アーカイブツールのバージョン情報を更新でき
	< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル

・手順③で「すべて」、または「DB サーバー」を選択した場合、上記「データベースサーバーの設定」画面は 表示されません。

・管理者(sa)パスワードは SQL Server インストール時に設定したパスワードを入力して下さい。 パスワードがご不明の場合は、SQL Server をセットアップされたご担当者様、またはシステム業者に お問い合わせ下さい。

・インスタンス設定については、SQL Server インストール時に名前付きインスタンスの設定をした場合のみ、 名前付きインスタンスを選択し、サーバー名とインスタンス名を入力して下さい。通常は既定インスタンスを 選択して下さい。

⑦ 「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。

設定項目をご確認の上、[次へ]を選択してください。

NIコンサルティング アーカイブツール - InstallShield Wizard	×
<b>ファイル コピーの開始</b> ファイルのコピーを開始する前に、設定内容を確認してください。	
プログラム ファイルのコピーを開始するための情報は次のシ動りです。設定を確認して、変更を必要とする場合は[戻る] ボタンをソリックします。現在の設定でよい場合は、じ次へコボタンをクリックするとファイルのコピーを開始します。	
現在の設定	
インストールサーバー環境: 1.すべて	
N製品のインストール先: C¥Program Files¥Apache Group¥Apache¥htdocs¥ni	
アーカイブツールのインストール先: C¥Program Files¥Niconsul	
InstallShield	_
< 戻る(B) (次へ、(M)) キャンセル キャンセル	



⑧ 最後に、「インストール準備の完了」画面が表示されるので、「インストール」をクリックしてください。 セットアップが実行されます。

Nロンサルティング アーカイブツール - InstallShield Wizard 🔀
インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。
[インストール]をクリックしてインストールを開始してください。
インストール設定を確認または変更する場合は、「戻る]を夘ックします。ウィザートを終了するには、「キャンセル]を夘ックします。
InstaliShield
〈戻る(B) (1)21-ル キャンセル

① インストールが完了しましたら、「Install Shield Wizard の完了」画面が表示されます。
 「完了」をクリックし、セットアップを終了してください。



#### 4-1. サーバーの設定日時について

「3.サーバーの設定日時について」を参考にして、サーバーの設定日時を確認してください。



[Web サーバーとデータベースサーバーを分割して運用されている場合] サーバー間で10分以上時間差がある場合、アーカイブ設定画面に注意メッセージが表示されます。 また、アーカイブの設定ボタン(「アーカイブ新規作成」「追加」「リカバリ」)が表示されません。 SQL Server版の場合は、4-2および4-3に従いNIタスクスケジューラの設定日時を確認してください。



〇 商標

本説明書に登場する会社名、製品名は各社の登録商標、商標です。

〇 免責

本説明書に掲載されている手順による操作の結果、ハード機器に万一障害などが発生しても、弊社では一切の責任を負 いませんのであらかじめご了解ください。

〇 発行

2013 年 3 月 25 日 第 12 版

